

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●音無秀孝調教師がJRA通算900勝を達成

9月12日(日)の5回中京2日・第10レースとして行われた浜松Sではエンブティチェアが1着となり、同馬を管理する音無秀孝調教師(栗東)は、史上23人目、現役では3人目となるJRA通算900勝(延べ7495頭目)を達成しました。

●サマーシリーズ2021のチャンピオンが決定

本年のサマーシリーズは全日程が終了し、各部門のチャンピオンが決定しました。サマースプリントシリーズはCBC賞(GⅢ)1着、テレビ西日本賞北九州記念(GⅢ)2着で15ポイントを獲得したファストフォース(牡5歳/栗東・西村真幸厩舎)、サマー2000シリーズは函館記念(GⅢ)1着、新潟記念(GⅢ)2着で15ポイントのトーセンスーリヤ(牡6歳/美浦・小野次郎厩舎)、サマーマイルシリーズは米子S(L)と関屋記念(GⅢ)1着、トヨタ賞中京記念(GⅢ)5着で計20ポイントのロータスランド(牝4歳/栗東・辻野泰之厩舎)が優勝。サマージョッキーズシリーズは中京記念1着などで29ポイントの川田将雅騎手(栗東・フリー)がチャンピオンに輝きました。

●凱旋門賞の勝馬投票券を発売

10月3日(日)、フランス・パリロンシャン競馬場で行われる凱旋門賞(G1)の勝馬投票券が発売されます。インターネット投票(即PAT会員/A-PAT会員)およびUMACA投票(キャッシュレス)で、単勝・複勝・馬連・ワイド・馬単・3連複・3連単、以上7式別の発売(枠連とWIN5は発売なし)。発走予定時刻は当日の23時05分(現地時間16時05分)で、発売締切時刻はインターネット投票が発走予定時刻の2分前、UMACA投票は競馬場・WINSなどの営業終了時刻となっています。なお今年の凱旋門賞には、クロノジェネシス(牝5歳/栗東・斉藤崇史厩舎)とディープボンド(牡4歳/栗東・大久保龍志厩舎)が出走を予定しています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド金沢の結果

2021ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド金沢は9月14日に行われ、第1戦は小沢大仁騎手(栗東)、第2戦は兼子千央騎手(金沢)が制しています。

●トゥルスウィーが佐賀三冠を達成【各地の主要3歳重賞】

ロータスクラウン賞(9月12日、佐賀、2000^円)は、2番手から向正面半ばで先頭に立ったトゥルスウィー(牝、父ヴァンセンス)がそのまま押し切り、単勝1.3倍の支持に応えて現行の三冠体系となつてからは史上2頭目、旧体系下を含めると6頭目となる佐賀三冠を達成。西日本ダービー(9月14日、名古屋、1900^円)は、3番手を追走した2番人気の兵庫からの遠征馬スマイルサルファー(騾、父プリサイスエンド)が直線に入って間もなく抜け出し、兵庫ダービーに次ぐ2度目の重賞制覇を果たしました。

●9月22日の白山大賞典(金沢)で連覇を狙うマスターフェンサー

白山大賞典(JpnⅢ、9月22日、金沢、2100^円)は、昨年の覇者マスターフェンサーが最有力、スワーヴアラミス、ヴェンジェンスが続き、ヒストリーメイカー、メイショウカズサ、ミュウチャリー(船橋)までが争覇圏内と考えられます。

●ラプタスらが参戦、9月23日のオーバルスプリント(浦和)

テレ玉杯オーバルスプリント(JpnⅢ、9月23日、浦和、1400^円)は、JpnⅢ4勝馬ラプタスが中心、以下前年の優勝馬で59^{ヶ月}のサクセスエナジー、テイエムサウスダン、ベストマッチョ(川崎)の順に有力視され、カツジは初のダートが課題となりそうです。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1愛チャンピオンS~セントマークスバシリカが優勝

アイルランドのレパーズタウン競馬場で9月11日に行われたG1愛チャンピオンS(3歳上、芝2000^円)はR.ムーア騎手を背に4頭立ての3番手でレースを進めたセントマークスバシリカ(牡3歳、父シユーニ、A.オプライエン厩舎)が昨年のG1ブリーダーズCターフの勝ち馬タルナワの追い上げを $\frac{3}{4}$ 馬身差退けて優勝しました。セントマークスバシリカはこれで昨年10月のデューハーストS(芝1400^円)、今年5月の仏2000ギニー(芝1600^円)、6月の仏ダービー(芝2100^円)、7月のエクリプスS(芝1990^円)に続くG1・5連勝となりました。

●G2フォワ賞~ディープボンドが逃げ切る

9月12日にフランスのパリロンシャン競馬場で行われたG2フォワ賞(4歳上、芝2400^円)は、日本から遠征中のディープボンド(牡4歳、父キズナ、栗東・大久保龍志厩舎)がC.デムーロ騎手を背に逃げ切り勝ちを取めました。1馬身半差の2着に今年のG1サンクルー大賞の勝ち馬ブルーム。日本調教馬によるG2フォワ賞制覇は1999年のエルコンドルパサー、2012年・2013年連覇のオルフェーヴルに続く4度目です。